

HEAPS

CREATIVE & INSPIRING

Issue 12 - 氷彫刻家 SHINTARO OKAMOTO

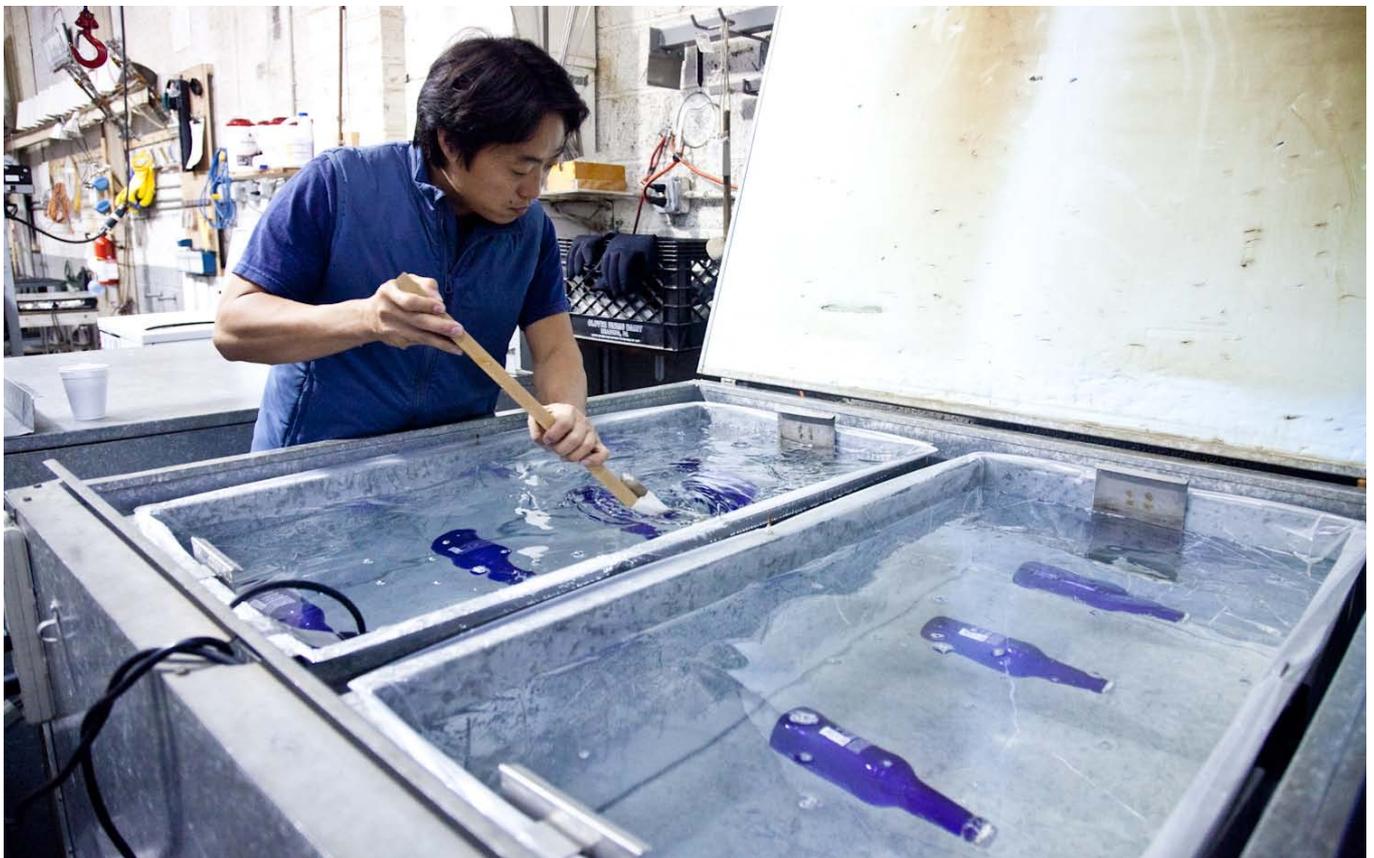
SHINTARO OKAMOTO

氷彫刻家、Okamoto Studio LLC 創業者

okamotostudionyc.com

「氷でビジネス? 『安かろう悪かろう』がまかり通っているから、やめた方がいい」

氷彫刻のビジネスをはじめようとしたときに受けたアドバイスだった。「だったらハイエンドを狙えばいい」いいものをつくる自信はあった。価値を分かるマーケットに切り込めば問題はない。2003年、岡本慎太郎は父・武夫とともに、マンハッタンからイーストリバーを渡ってすぐのクイーンズ、ロングアイランドシティに「OKAMOTO STUDIO」を創業。それから11年、OKAMOTOの“オートチュール氷彫刻”はニューヨークのイベントシーンを彩るアイコンとして知られるまでになった。創業10周年を迎えた2012年4月、父・武夫は他界した。父のレガシーを胸に、慎太郎は今日も、必ず溶けてなくなってしまうと知りながら、氷の芸術品をつくっている。



2014年1月18日。雪まじりの冷たい雨が降る中、慎太郎が率いるOKAMOTO STUDIOの水彫刻家がセントラルパークのBethesda Terrace(ベセスダ・テラス)に現れた。中心に天使の彫刻を飾りにした噴水がある円形広場は、景観の美しさからこれまで数多くの映画の舞台にもなっている。そこに、おもむろに高さ1メートル、幅50センチメートルはある巨大な氷を積んでいく。OKAMOTOの氷はすべてスタジオにある氷製造機でつくられたものだ。透明な氷を製造するのは難しい。気泡や不純物が入っていないクリアな氷をつくるためには、常に水を流動させながら凍らせる必要がある。OKAMOTOの氷は、独自開発した氷製造機によって、夏場は4時間、冬場は3時間かけてつくられる。そして生まれた、芸術の“素”となる氷をセッティングした途端、惜しげなくチェーンソーで切り落とし作品のアウトラインをとる。氷のしびきが太陽光に反射しながらキラキラと舞っては落ち、石畳の上で溶けていく。大胆かつ繊細な技で徐々に全貌を現す氷の彫刻。寒空の下、見物客はどんどん増え、人だかりができる。いつの間にか雨も止み、雲間から太陽が顔をのぞかせる。「何になるんだろうね」とささやかれた子どもは「Angel(天使)!!!」と声をあげ、目を輝かせていた。

一度の人生だからクリエイティブしたい 父のレガシーを受け継いで

岡本一家4人が福岡県からアラスカ州へ移住したのは1983年。現在、クリエイティブディレクターとしてスタジオを切り盛りする慎太郎は当時9歳。「すしシェフになる」とアメリカ行きを決めた一家の主に対して、家族全員「あらそう」のノリだったという。「母も含め極めて楽観主義ですね」と振り返り笑う。アラスカの冬は長い。両親は店をやっていたため、慎太郎は弟と二人で遊び退屈をしのいだ。多感な9歳という時期、異国の地で孤独を感じなかったはずはないが、絵を描くのが好きだったことも幸いした。言葉が通じなくても、絵が架け橋になってくれた。「上手だね」「何を描いているの?」。ほめられること、何かできることに喜びを見出した慎太郎少年は、締切前日ではあったがコンクールに作品を出そうと決意。徹夜で仕上げた力作は見事、当選し、慎太郎少年は一躍脚光を浴びることになる。

若い才能を見出し育てることにアメリカは寛大だ。慎太郎少年はスカラシッププログラムを通して、週2回、季刊誌『ワイルドライフアート』に所属するプロの絵描きから指導を受けるチャンスを得る。「13歳のころにはモード写真を大人に混ざって描いていました」。当然のように与えられた環境に驚きと感動を隠せなかった。そんなシステムが存在することもすごいと思ったが、「(参加を)許したうちの親もすごい」と笑う。父・武夫のスタンスは「自分ができなかったことを息子たちにはおおいにさせよう、応援しよう」。しかし芸術の才能を開花させる息子に感化されたのか、自らも“氷をたしなむ”ようになる。武夫自身も好奇心が強く凝り性。すしシェフの武夫が作り出す氷の彫刻は、アラスカの地で、そして氷アート業界で知られるようになる。

一方、息子の慎太郎はプレジデンシャル・スカラシップ(大統領による奨学金制度)特待生としてホワイトハウスに招かれるなど、神童のごとく芸術の道をまい進。さらには医学の道も志し、大学はアイビーリーグの名門、ブラウン大学へ入学した。だがある日、医学を続ける自分の“用意されているこれから”が見えてしまい、踏みとどまる。「医学も素晴らしい。でも人生は一度。自分はクリエイティブできるアートをやりたい」

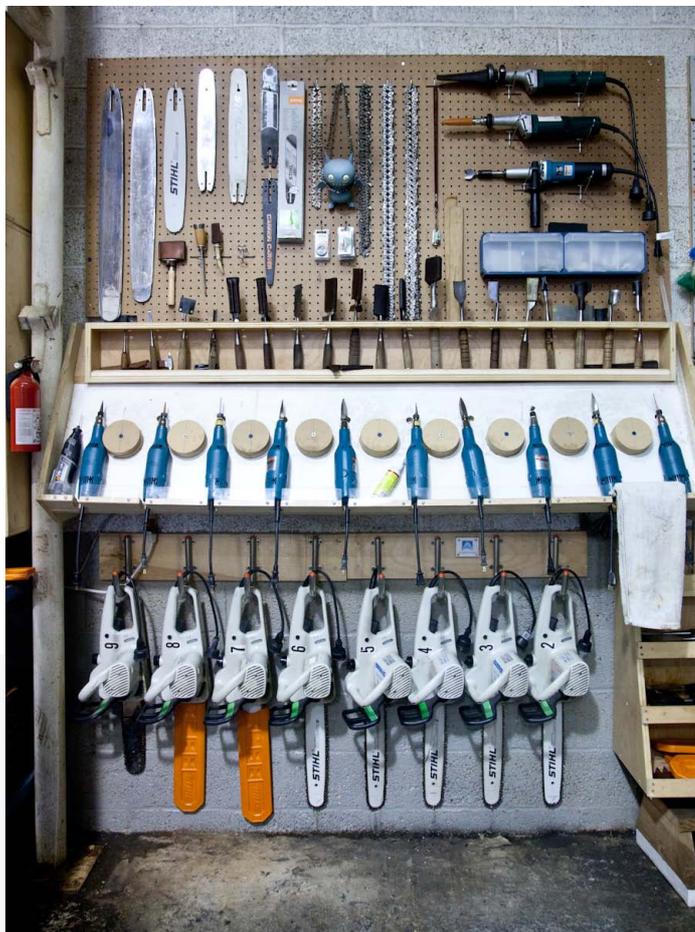
何かを生み出す、クリエイティブな営みであるアート1本で生きると決め再出発するころ、「親父がいわゆる『ミドルエイジ・クライシス』に」。趣味にしては大層な氷彫刻をつくりあげる父と作品のデザインを描くことが多々あった息子が「二人で何かしよう」と話したとき、氷しかなかった。そして一家は、ニューヨークへの移住を決める。

「儂い美しさ」の価値 作品と技術で応えてこそ

ニューヨークを選んだ理由は一つ。ハイエンドなものに価値を見出すマーケットがあり、

何万ドルという規模のイベントが毎晩行われる街だからだ。「クライアントから初めて電話をいただいたその瞬間に、関係性が決まる」と話す慎太郎。「安売りはしない」OKAMOTOにはじめから理解を示してもらうのは厳しい。しかし、いいものをつければ、最高のカスタマーサービスと技術に対する評価は必ずついてくると二人は確信していた。その信念を貫き、地道に謙虚にやってきた。金額を聞くなり電話を切るクライアントも多い。しかし、OKAMOTOの提供する氷彫刻の価値を見出した層に対して、最高の作品と技術で応えてきたからこそ、今がある。リピーター率が高いのも彼らのハートをしっかりつかんでいる証拠だ。「自分のブランド、価値を理解してもらえないことに対しては謙虚に受け止めます。時間がかかるとしても、根気よくやるしかない。いずれ結果につながります」

これまでOKAMOTOの氷彫刻をイベントの「顔」にしたのは、ナイキ、ニューヨークタイムズ、アウディ、フードネットワーク、MoMA、ワールドルフ・アストリア、ニューヨーク・ヤンキース、モリモト、ヤフー、ティファニー、ロックフェラーセンターなど、一流といわれる企業ばかり。二人のヨミ通り、ニューヨークにはハイエンドなものを愛でるカルチャーが、ビジネスを成立させる器量があったことの証明にもなった。ファッションショーやホリデーシーズンのイベント会場を彩る、精巧な細工が施されたOKAMOTOの氷彫刻は見る者を虜にし、『ニューズウィーク誌』(2007年10月)は武夫を「パイオニア 世界が尊敬する日本人」の一人として特集した。



氷を彫るのは失敗が許せない、一瞬一瞬の勝負事。だからこそ「度胸がない自分に気づく。そんな自分と向き合って鍛えることもできるのが氷彫刻」だという。ライブインスタレーションで氷に見入る視線は真剣そのもの。チェーンソーで切り込む際、「どうしたものか」とチームメイトに耳打ちし次の一手を考える。「自分にはない技術や能力を持っている人、自分より“上”にいる人と仕事したい」のは、「心が広いわけではなく僕自身の欲で、僕がもっと発展したいからなんです」と笑った。そんな慎太郎と共に腕を磨き、高みを目指したいとOKAMOTO STUDIOにやってくる氷彫刻家は多い。

主なクライアント数は50社を超え、スタジオは休むことなく稼働している。結婚式や個展のオープニングなど、企業以外の依頼も多い。精巧な技術を駆使したオブジェはもちろん、ナイキのシューズなど、ブランド商品そのものを透明感のある氷に大胆にそのまま閉じ込めてしまう氷オブジェもOKAMOTOブランドのウリだ。作品に見入る人々の中には、感激と感動の後に「溶けちゃうんだよね...」と、一抹の寂しさをつぶやく者もいる。

「そこに美があるんですよ」

微笑んでそう話した慎太郎の視線の先には、やわらかい日差しを受けて輝く氷の天使がいた。朝とは違ってかわってすっかり穏やかな空。雲の切れ目から差し込む太陽光の筋は「天使の通り道」と呼ばれる。慎太郎とOKAMOTO STUDIOがつくった氷の天使を、静かに祝福するような時刻だった。

Photographer: Koki Sato, Kuo-Heng Huang

PAST POST

[Issue 14 - HappyDoll.org NOZOMI TERAQ](#)
A WEEK AGO

[Issue 13 - トランスインサイト\(株\) TOMOYA SUZUKI](#)
A MONTH AGO

[Issue 12 - 氷彫刻家 SHINTARO OKAMOTO](#)
2 MONTHS AGO

[ISSUE 11 - ネイルアーティスト NAOMI YASUDA](#)

3 MONTHS AGO

[Issue 10 - トップヘアスタイリスト AYUMI MITSUSHI](#)

4 MONTHS AGO

[Issue 09 - 株式会社アムネット・ニューヨーク FUJIO NAKAGAWA](#)

4 MONTHS AGO

H E A P S  A r g u m e n t



Preview P O S
...



HEAPS Issue 14 for Women



HEAPS Issue 14 for Men

[HEAPS Magazine](#)

Got a new clutch that can go with a dress or kimono! <http://t.co/0NmP1fZ4j>

5 months ago

Follow @HEAPSMAG

NEWSLETTER

新刊発行やイベント情報など、HEAPS最新情報をメールマガジンでお届けします

Email Address

SIGN UP



[ABOUT](#) | [PRESS](#) | [CONTACT](#) | [PRIVACY](#)

© 2013 HEAPS Magazine